



四條畷市議会議員

ながはた

# 長畑ひろのり News



発行：2007.12.01

vol.006

ご意見は次の e メールアドレスへ sky@nagahata.jp phone : 072-878-3205  
公式HP & ブログも次のURLへ http://nagahata.jp fax : 072-877-1194

## こんにちは、市政報告です！

皆さん、こんにちは。2007年も終わりが近づいてきました。今年は、昨夏の市長選挙に続き市議会議員選挙と、多くの方にご迷惑をおかけした年でした。そして市議に当選してからも多くの方にご支援頂き有難うございます。これからも市政に対して経験を積み重ね、市民の皆様へ情報を届けさせていきますので、2008年以降も宜しくお願いします。

## 議員の「虚礼・寄付」について！

議員は、いろいろな制限の元で活動しなければなりません。知らなかったで済まない事も多く、議員活動を辞めなければならない場合も出てきます。その中のひとつ「虚礼・寄付」行為ですが、公職選挙法以上の事も四條畷市の市議会では定めていますので、それについて次に書かせて頂きます。

四條畷市の市議会では要綱を定め、本市議会議員及び後援団体の活動において、公職選挙法の規定を遵守するとともに、さらに一歩進めて、虚礼を廃止し寄付を禁止しています。



- 虚礼について認められていない主なもの・・・
  - ・選挙区内の方への年賀状、暑中見舞い（自筆を除く）
  - ・慶弔電報・広告
- 寄付について認められていない主なもの・・・
  - ・中元、歳暮・慶事の祝金、花、酒・入学祝、卒業祝
  - ・行事の寸志、粗品、飲食物の差入れ
  - ・弔辞の香典、楮、供花、供物・就退任の祝金、餞別

以上ですが、寄付に関しては6親等以内の親族は、上記の寄付行為から除かれます。しかし、四條畷市に40年ほど住んでいます、親族となりますと何も出来ないのが実情です。

また、市内の方々に年賀状や暑中見舞いのハガキも出す事が一切できません。礼を尽くすためには、お世話になった多くの方に年賀状をだすのは日本の習慣でもあり、私の気持ちの上からも必要なことと思っておりますが、決まりごとですので申し訳ないのですが、ご理解下さい。

## 決算特別委員会（イオン）について！

11月7、8日の二日間、決算特別委員会が行われました。全議員が予算か決算かのどちらかに所属するのですが、私は議員として自身で予算を見ていない決算から関わるよりは、予算から関わりたいとの考えで、次年度の予算委員会に属することにしました。そのため、この決算特別委員会では傍聴しかできず、意見は同じ会派の議員を通してとなりました。

この決算特別委員会では多くのことが議論されましたが、今回は紙面の都合上、イオンの問題についてのみ報告します。

- ◎ 出店率と現在の状況について — 都市計画課課長答弁 —
  - ・100%出店はある。
  - ・平成22年竣工予定と聞いている。
  - ・地権者80件のうち66名に同意を得たと聞いている。
- ◎ 出店後の試算について — 副参事答弁 —
  - ・収支見通し 初年度のみ 固定資産税 2億7千万円
  - 2年目以降 固定資産税 3億4千万円
  - 以上の計算をしているが、道路管理費等に経費がかかるので、5年ぐらいいは歳出及び歳入が同じで、将来的には税収があがるものと見ている。
- ◎ 市の負担について — 副参事&都市計画課課長答弁 —
  - ・外環状線（国道170号線）からイオンまでの道路を作るのに20億円かかるが、その半分である10億円をイオン側に負担してもらう予定で考えている。
- ◎ 地元産業との関係について — 産業労働観光課課長答弁 —
  - ・大型店にない地域に隣接している商店街は大事であるので、地元事業者と何度も話をして活性化に努めたい。
  - 市長答弁 —
  - ・委員会を立ち上げて、いろいろな問題を解決していく。地元商店街と話をして解決に向けて進んでいきたい。

画像は大日イオンです  
砂に建設予定のイオンは  
これより大きくなります



# くすのき広域連合について！

## ■ 介護保険制度とは

わが国の急速な高齢化の進行は、介護を要する者の増加、介護をする者の高齢化や介護期間の長期化等、家庭などの個人的な努力だけでは解決できない状況を生み出してきました。

介護保険制度は、このような問題を社会的に解決していく仕組みとして創設され、平成12年4月に実施された社会保険制度です。

## ■ わたしたちのまちでは広域連合で介護保険を運営

くすのき広域連合は、守口市、門真市、四條畷市の介護保険を運営する保険者として、平成11年5月6日に設立された特別地方公共団体であり、名称は3市の「市の木・くすのき（楠）」に由来しています。

### 《 基本理念 》

すべての高齢者が  
住み慣れたまちで安心して生活ができる、  
また、社会参加できる地域社会の実現

そして、くすのき広域連合には、くすのき広域連合議会があり、守口市7人・門真市6人・四條畷市4人の市議が派遣議員として所属しています。私も四條畷市4人の中に所属しており、現在は四條畷市の代表として守口市や門真市の代表とともに、議会運営の調整などをしております。

## ■ くすのき広域連合の役目とは

介護保険事業を広域化することで、同一保険料で同じ水準の介護サービスが受けられることや公平・公正な認定、市域にかかわらず近くの窓口で申請できるなど、様々な効果・利点があります。また、保険リスクの分散、財政の安定化、事務処理の効率化とコストの削減、一元化した事業者指導でのサービスの質の向上や広域的な調整によるサービス基盤の整備等にも効果があらわれています。

# 広域連合「行政視察」について！

くすのき広域連合で行政視察があるのですが、3市の議員が同時に日程を合わせて行動するには無理が生じますので市単位で行うことになり、そこで四條畷市の派遣議員は九州方面へ、11月19、20日の一泊二日で行きました。

行き先は19日に佐賀中部広域連合、20日は福岡県介護保険広域連合です。事務局1名と四條畷市の派遣議員4名（私と曾田議員・空地議員・阿部議員）全員の参加で、有意義に視察することができました。

この二箇所の視察について次に報告させていただきます。

## ◎ 佐賀中部広域連合 視察報告

ここは、介護保険料について多くの問題提起をされてきました。中でも、居宅介護支援事業者の不正を無くすことに対する取り組みには素晴らしいものがあります。1事業者に対し、過去2,000万円の返金もさせた事例があるそうです（実際の金額はもっと高額だったそうですが、全て返金をさせますと事業所の存続が危うくなり、金額を下げたそうです）。

内容ですが居宅介護を受けた時間が6時間以上と未滿とでは事業者へ支払う金額が大きく違い、その辺りの処理で不正が増えていったそうです。

ヘルパーさんが何時に来て何時に帰ったかを聞いても高齢者ははっきり覚えていないことが多く、その対策の一つとして今年の10月から「かいご日記」を配布し、簡単な記録を書いて頂くようにしたそうです。

「かいご日記」は認知症予防のために渡しているのですが、実は利用状況の実態調査もわかる優れたものです。1ヶ月間毎日書かれた方には特別賞として温泉ペア宿泊券や商品券、食事券が当たりますし、特別賞が外れ方にも粗品が進呈されたりと、書いて頂くための工夫がされています。

「かいご日記」は認知症予防のために渡しているのですが、実は利用状況の実態調査もわかる優れたものです。1ヶ月間毎日書かれた方には特別賞として温泉ペア宿泊券や商品券、食事券が当たりますし、特別賞が外れ方にも粗品が進呈されたりと、書いて頂くための工夫がされています。

## ◎ 福岡県介護保険広域連合 視察報告

ここは県単位で広域連合を組織されており、規模は3市で作っている「くすのき広域連合」とまったく違います。県内全ての市町村が加盟しているのではないのですが、それでも39市町村（平成の大合併前は72市町村）と大所帯です。そのため、地域間の高齢者の割合が違い、介護保険料の設定を地域別に分ける等の工夫をされていました。

低所得者の減免（料金などの負担を軽減または免除すること）要望が多く、それに対する取り組みは、県という規模の大きさを利用して厚生労働省へ働きかけているそうです。

